
The Only One.

天窪 雪路

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

The Only One .

【Nコード】

N 8 6 5 7 P

【作者名】

天窪 雪路

【あらすじ】

「死を恐れぬ勇猛果敢な人物」とは、私に言わせれば「死に対して十分に考えが及んでいない浅はかな者」であり、「生を丹念に歩んでいない無責任な者」であるのだ。

今日という日まで人生を生きただとはつきりと自覚した時には、私は既に29歳になっていた。

人の一生が80年というのなら、私はその既に36%を過ごしたことになる。私に残された時間はあと64%である。しかしそれもかような私の生き方ではもっと短いものとなるだろう。

死について思うと、それは恐ろしくて仕方がない。

「死を恐れぬ勇猛果敢な人物」とは、私に言わせれば「死に対して十分に考えが及んでいない浅はかな者」であり、「生を丹念に歩んでいない無責任な者」であるのだ。

ところで、人が死ななければならない理由については、私は十分に理解している。太古の昔、人類が犯したという原罪。それゆえだ。我々は底の見えない深い罪のために一度与えられた命という夢を、わずか80年のうちに取り上げられてしまう運命にあるのだ。それが罪を購うということであるのだ。もともと、それは正確に言えば、罪の購う行為としては極めて不十分であり、単に延々と与え続けられる罰に過ぎない。そして与えられるだけ罰は与えられるが、永遠にその罪が赦されることはないのだ。

そのように私は死についてを理解しており、しかし、死に対して消極的に生きるのではない。私は積極的に死を受け入れ、それゆえに生を豊かにしたいと願い、努力をする。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8657p/>

The Only One.

2011年1月13日07時44分発行